

笑いで皆さんの免疫力高める



札幌市の大学職員金山敏憲さん(50)が代表を務める落語サークル「札幌落語倶楽部」は29日、札幌市中央区のUHB北海道文化放送1階(北1西14)で「第17回まつらく寄席」を開く。「笑いで皆さんの免疫力を高めたい」と意気込む。

落語への挑戦は40歳を過ぎてから。「人生100年の時代。座布団があればできて、話術も磨かれ、仕事にも役立つ」と魅力を語る。高座名は「日之出家金助」。中学生から60代まで20人が所属し、月1度の稽古会では立場を超えて批評し合い、芸に磨きをかける。

寄席では自身を含め8人が落語や寄席芸を披露。アマチュア公演では珍しく、三味線や太鼓で奏でるおはやしを生演奏する。代表就任は昨年4月で、その披露の場となる。「感染対策を万全に、ライブの演芸の魅力を伝えたい」。

午後1時半から。木戸銭500円。
(高田かすみ)

声
Voice